【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和３年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）
Ａ：十分達成できている
Ｂ：おおむね達成できている
Ｃ：やや不十分である
Ｄ：不十分である

学校名	唐津市立竹木場小学校

1　前年度評価結果の概要	・学校教育目標　「夢を語って、夢を追う児童生徒の育成」～「継続」「挑戦」「進化」～のもと、県指定小中連携研究を柱に中学校区内の学校間で連携した取り組みを進めている。４校による合同研修や推進会議を実施し、協力・交流の機会や情報の共有を通して、学力向上、キャリア教育、人権・同和教育など、共に研鑽を積んだ。 ・学力向上については、佐賀県や唐津市が推し進める、「授業つくりの１，２，３」や「アクションプラン」をもとに、小中連携による研究に添って、単元による学習計画表の活用と授業と連動した家庭学習の工夫に取り組んだ。教師間で協議を重ね、学習計画表を活用して単元をひとまとまりにした授業が定着しており、家庭学習との連動にも意識した授業改善が進んでいる。 ・児童主体のあいさつ運動を実施しているが、中学生にならい、立ち止まりあいさつに取り組む児童が増えている。学校行事においても児童の出番が確保され、自分たちの手で行事を成功させたという達成感を感じさせることがができている。 ・業務改善については、過度な超過勤務はなく勤務時間についてはほぼ適正であるといえる。ただ、時期的・個人的にみると、取組が十分でないこともあり、より効率よく業務を分担していくことが、来年度へ向けた課題である。
2　学校教育目標	夢を語って夢を追う児童生徒の育成　　～「継続」・「挑戦」・「進化」～
3　本年度の重点目標	○中学校区内の学校連携に根ざした校内研究（キャリア教育・学力向上）の推進 ○児童会・生徒会活動の活性化 ○分かる授業の構築と確かな学力の育成 ○業務改善と働き方改革の推進

4　重点取組内容・成果指標 ／ 5　最終評価

（1）共通評価項目

重点取組：評価項目	重点取組：取組内容	重点取組：成果指標（数値目標）	具体的取組	最終評価：達成度（評価）	最終評価：実施結果	学校関係者評価：評価	学校関係者評価：意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80％以上	・教職員間で学力向上対策評価シートを共有するとともに、校内研究等によりマイプランの取組を促進する。	A	・学力向上評価シートをもとに課題を共有し、学力向上について研修を重ねた。マイプランの成果指標を達成した教師は80%を超えている。	A	・児童は一生懸命学習に取り組んでいて、授業を工夫されているのもよく分かった。情報危機の活用が進み、一人ひとりにきめ細かな支援が行き届くことを願っている。
	〇わかる授業の構築と確かな学力の育成	〇「学習計画表を積極的に活用できた」と回答した教師80%以上	・学習計画表の活用方について校内研究で深め、より効果的な活用を目指す。	B	・学習計画表を活用し、毎時間のつながりを意識して、学習を進めるよう努めたが、「学習計画表を積極的に活用できた」と回答した教師は76%にとどまった。今後、職員研修や授業の相互参観などで、よりよい活用を広めたい。	B	・数値だけにとらわれず、丁寧な分析をもとに、よりよい指導に繋げて欲しい。苦手なことや困難なことにも我慢強く取り組めることが、将来生かされる場面が多々ある。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	〇「友達に思いやりの心をもち、仲良く過ごすことができている」と回答をした児童80%以上	・道徳教育や人権・同和教育を中心に、学校教育のあらゆる場面で心の教育の充実を図る。	A	・道徳の授業や朝・帰りの会の講話、また、なかよし集会や平和集会等など、あらゆる機会をとらえ、人権や平和について考える時間を積み重ねた。「友達に思いやりの心をもち、仲良く過ごすことができている」と回答をした児童は80%を超えている。	A	・素直で温和な児童が多く、過ごしやすい環境だと感じる。豊かな心とたくましい体力を兼ね備え、健全な成長を願っている。体を鍛える中で育つ心構えもあるだろう。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	〇「学級での心地よさを感じている」と回答した児童90%以上	・生活アンケートやいじめ調査を定期的に実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。	B	・生活アンケートやいじめアンケートを実施し、悩みを抱える児童の把握とその解決ににつなげられた。「学級での心地よさを感じている」と回答した児童は85%であったため、より丁寧な支援を目指したい。	B	・人に対する優しさと困難を跳ねのけるたくましさを兼ね備え、地域に貢献できる大人になって欲しいと願っている。地域との話し合いを深めて、地域の力も活用して欲しい。
●健康・体つくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0（ゼロ）にする	・教職員、保護者、交通指導員による登校時の安全指導、及び、交通安全教育を計画的・継続的に行う。	A	・地区の交通指導員や育友会の協力で、朝の見守り活動を続けている。下校時には、指導と見守りを兼ねて、職員で見送るようにしている。児童の交通事故0（ゼロ）が継続できている。	A	・学校・保護者・地域の協力があり、子どもたちを見守る環境が整っている。継続して取り組んでいって欲しい。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・時間外記録票を基に勤務実態を把握し、職員への声掛けを行うとともに、相談体制を充実させる。	A	・ほとんど基準内の時間で業務に取り組んでいる。時期によって忙しくなる職員には、職員間で支援して、常態化することは回避できている。	A	・感染症への対応など、新たな業務が次々と生じる職場だと思われる。児童の教育環境を豊かにするためにも、先生方の働き方改革を推進して欲しい。

（2）本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組：評価項目	重点取組：重点取組内容	重点取組：成果指標（数値目標）	具体的取組	最終評価：達成度（評価）	最終評価：実施結果	学校関係者評価：評価	学校関係者評価：意見や提言
〇キャリア教育	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・5，6年生のマナー検定や職業講話への参加を継続して行う。 ・生活科や総合的な学習の時間にキャリア教育を意識した単元を構成していく。	A	・職業講話やマナー検定への参加や、地域の方と交流しながら学習できることが、社会とのつながりを感じる良い機会となった。「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童は90%を超えている。	A	・近年、職種が増えているため、健全な職業観を身につけさせ、思い描く夢や希望に向かって努力できるように支援・指導をお願いしたい。
〇特別活動の充実	〇児童の主体的活動の活性化	〇「友だちの意見をよく聞いて考えることができた」と回答する児童80%以上	・運営委員会や実行委員会を中心に、集団をまとめさせる機会をつくり、学校行事の活性化を図る。	A	・学校行事やたてわり班活動、委員会活動など、児童がリーダーシップをとり、全体のことを考え先を見通す経験を積んだ。「友だちの意見をよく聞いて考えることができた」と回答する児童は、90%を超えている。	A	・意見を出し合うことで、それぞれの考えの違いを調整し、一緒に活動できることが大切である。自信をもって行動することも大切だが、周囲と協働するなかで、自分の及ぼす影響についても気づけるようになって欲しい。

●…県共通　〇…学校独自　◎…志を高める教育

5　総合評価・次年度への展望	・学校教育目標 「夢を語って、夢を追う児童生徒の育成」～「継続」「挑戦」「進化」～のもと、学力向上、キャリア教育、人権・同和教育などに重きを置いて研鑽を積んだ。 ・中学校区内の学校間連携を進め、4校による合同研修や推進会議を実施し、協力・交流の機会を増やし情報の共有を図っている。 ・学力向上については、佐賀県教育委員会の「学力向上対策評価シート」で課題の共有と目標の設定を行い、「授業つくりの1，2，3」をもとにした授業改善に取り組んだ。また、唐津市教育委員会の「アクションプラン」で振り返り、進捗状況の把握と改善の推進につなげている。 ・中学校区内の小中連携による研究に添って、授業のつながりを意識した単元構成と学習計画表の活用に取り組んだ。教師間で協議を重ね、学習計画表を活用して単元をひとまとまりにした授業が定着しており、家庭学習を意識した授業改善が進んでいる。 ・学校行事等においては、児童の出番が確保され、自分たちの手で行事を成功させたという達成感を感じさせることができている。 ・業務改善については、過度な超過勤務はなく勤務時間についてはほぼ適正であるといえる。ただ、時期的・個人的な負担を考慮し、より効率的にバランスのとれた業務分担や支援体制をとることが、次年度へ向けた課題である。